

ナンド・キショール・シン元連邦上院議員の功績及び経歴について

【賞賜：旭日重光章】

日本・インド間の関係強化及び相互理解の促進に寄与

- (1) ナンド・キショール・シン（以下、N. K. シン）氏は、1964年にインド行政職（IAS）としてインドの公務員となりました。1981年から1985年にかけて在日インド大使館の経済担当公使として勤務した他、財務省歳出担当次官、財務省歳入担当次官、計画委員会委員、連邦上院議員を歴任し、日インド間の経済関係の発展に貢献した他、長年にわたり、日本からインドへの投資促進に積極的に関与するとともに、インドを魅力的な投資先とするための政策変更に対する助言を行ってきました。
- (2) N. K. シン氏は、様々なセミナーや著名なフォーラム等を通じて、日インド間の相互理解の促進にも優れた貢献を行ってきました。特に、N. K. シン氏は、2003年から2007年にかけて行われた日インド・シンポジウムの成功裡の実施において重要な役割を果たし、パネリスト及び共同司会者として、同シンポジウムにおいて、日インド間の協力を発展させる必要性を訴えました。加えて、N. K. シン氏は、日米印トラック2戦略対話のメンバーとして、日インド間の協力の拡大にも寄与しました。
- (3) N. K. シン氏は、ナーランダ賢人会議のメンバーとして（現在はナーランダ大学運営委員会のメンバーとして）、ナーランダ大学を通じた日インド協力の領域の拡大に貢献しました。また、国際高速鉄道協会上席委員会委員であるN. K. シン氏は、高速鉄道システムに関する国際協力と理解の促進に重要な役割を果たしました。